



子供が自立し

みんなの活躍で創り上げる学校



主体性

自律性

協働性

校長 島 章人

お手伝いのお礼にサッカーをしよう

12月7日(土)は、土曜授業参観でした。その日は午前中授業でしたので、午後から、私はオリーブの木の剪定をしました。

剪定をしていると、運動場では、一旦家に帰り学校に遊びに来た5年生数人と中学生（本校の卒業生？）数人が、サッカーをしています。10人にも満たない人数でサッカーの試合をするには、学校の運動場は少し広すぎたようで、しばらくすると、疲れたのか座り込んでいます。私はダメ元で「運動場を貸してあげたお礼に、切ったオリーブの枝を、草捨て場まで運ぶのを手伝ってくれない？」と尋ねたところ、「いいですよ」と快い返事。5年生数人が枝運びをしてくれました。おかげであっという間に片付きました。

「手伝ってくれたお礼に、サッカーをしよう。」というと、「校長先生、サッカーできるんですか？」と疑いの反応をしてきます。「へたくそだけど、校長先生もサッカーしていいかな？」と長靴のままサッカーをしました。そのうち、遠巻きに見ていた中学生も参加して、5人対5人の試合になりました。

中にはサッカーのチームに入っている子もいて、私がどんなにディフェンスを頑張っても、華麗なドリブルであっさりと抜き去られます。そのかわり、技術もスピードもない私は、力業で勝負。肩でどーんと体当たりして、相手が体勢を崩した隙にボールを奪い、味方にパス。のつもりが敵？味方？えっ！だれが味方？と思っている間にゴールを決められてしまいました。結局その1点で負けてしまいましたが、子供たちとの交流は、うれしいものでした。

校長先生、タブレットをなくしました

12月9日(月)朝、西原クリニック付近の交差点で交通指導に立っていた時のことです。6年生の男の子が険しい表情で近づいて来るや、「おはようございます」のあいさつの代わりに「校長先生、タブレットをなくしました。」と困ったように言っています。「おはようございます。」とあいさつで返したところ、更に「タブレットをなくしました。」と言うのです。

これは、相当困っているなあと思い、「どこでなくしたか心当たりは？」と尋ねると、「分かりません」と。「学校ね。家ね。」と聞くと、「土曜日に万田抗ガイドで…」と、自信なさそうに言います。「とすると、この子は、きっと不安な気持ちで土日を過ごしたんだろう。そのどうしていいか分からない気持ちを抱えたまま、今朝、私に告白してきたのだろう」と思えてきました。

「もしかしたら、万田抗にあるかもしれないんだね。いずれにしてもどこかにあるよ。もう一回探してみよう。」と言いました。そして、「心配せんでいいよ。」と付け加えておきました。

その日、授業中の様子を見に行くと、家庭科の学習で早速タブレットを使っているその子がいました。「タブレットあったみたいね。」と声をかけると、「はい、友達が持っていました。」とのこと。

私は、とてもうれしくなりました。タブレットがあったことはもちろんですが、この子が、自分の心を私の目の前にさらけ出してくれたような気がしたのです。心は本来見えない物ですが、この子とのやり取りを通して、確かに「不安な心」「安堵の心」を見る事ができました。



大健闘!タグラグビー大会

12月14日(土)に、市陸上競技場で市内の小学6年生を対象としたタグラグビー大会が行われました。万田小からも6年生の有志が集まり、2チームが参加したところ、女子の部で準優勝、男子の部で一勝一敗と大健闘でした。急ごしらえのチームで、ほとんど練習していないわりには選手の連携も素晴らしい、また、選手それぞれの持ち味を活かした好プレーで、見ている私も応援に力が入りました。



中央小との決勝戦では、「平井小の人たちに万田小の応援に加わってもらうように言ってくる。」とライバルの学校にも応援のお願いに行ってきました。決勝で敗れ、涙を流す子供たちを見て、本当にうれしくて、悔しくて、こちらも危うく泣いてしまうところでした。

2025年もよろしくお願ひします

2024年も、残すところあと十日あまりとなりました。保護者の方々、地域の方々の支えのお陰で、万田小学校も益々活気のある学校になっていると感じます。私も力をもらひながら、子供たちと共に楽しく過ごすことができました。2025年もどうぞよろしくお願ひします。

良い年を